



# 連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局  
Tel 045-893-4877 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>  
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 270 号  
(創刊 1988.12.14)

2012.03.04

## 公害調停委員会に要請 事業者は法的手続き遵守を

事業者(国交省、東日本高速(株))が大気汚染予測に用いているプルーム・パフモデルは、平坦な土地用に開発された古い時代遅れのものであり南線沿線の様な複雑な地形には不相当で、より進んだ三次元流体モデルを用いて大気汚染予測をやり直すべきであるとして住民が調停申請し、現在審議が進行中である。

ところが事業者は公害紛争処理法第23条の二第3項で定めた「代理人の権限は、書面をもって証明しなければならない」に反し、未だにこの書面を提出していない。そこで住民は2月14日の第3回調停委員会で、事業者は法を守り早急に書面を提出するよう強く求めた。事業者代理人がどのような権限を持つか解らないと住民として実質的な議論ができないので、いつこの書面が出るかに大きな関心を持って見守っている。(法都計部)

## 地元を愛する力

・・・中島政希議員と会談して

「まだ、諦めていません。」——これは八ツ場ダム建設継続に抗議して民主党を離党した、地元群馬県の中島政希衆議院議員の言葉です。穏やかな口調の中にもぶれない政治家の覚悟が伝わってきました。地元の実状を詳細に調べた上での行動でした。

現在八ツ場ダムの本体工事の進捗状況はゼロパーセントであるが、莫大な建設予算の九割はもう使われて消えている。またしても国の誤算が国民の肩に重くのしかかる。一体どれだけ自然を破壊し、どれだけ国の借金を増やせば土建立国日本は止まるのか。

未曾有の大震災の復興が財源難でなかなか前進できない今、必要性の低い公共事業の見直しは当然ではないか。このままでは次の世代への負の遺産が増えるばかりだ。

私も地元住民として環境を守り続ける決意を強くした。(庄戸3丁目 田中恵子)

## ハツ場ダム、PART II の報告

2月23日(木)に「・・・原発・ダム・道路・干拓・・・に巣くう利権集団を肥やす予算にSTOPだ!」と掲げて衆議院会館の大会議室に200名を超える同じ気持ちの人たちが集会した。

これは1月17日のPART I に続く緊急集会である。連協からも女性2名を含め3人が参加した。上述したいわゆる公共事業が如何に「ムラ」と称する利権集団と密着し、国民の貴重な税金が投入されて生き延びているかを改めて学んだ。

それは全ての事業で同じ構図であり、この東日本大震災を眼の前にしてなぜこの構造が揺るがないのか? 今後の日本の向かう方向がはっきりと確認できた一日であった。

「官僚に任せられない、政治主導と訴えた政治家にも任せられない、国民一人一人が動き出さなければならない。」と参加全員で宣言した。(比留間)

(集会に参加して)

「**真実の安心安全**」を求めて!

—増える女性参加者—

主催者をはじめ、パネラーや参加者の四割近くが女性でした。原発事故以降「子ども達の環境をもう国に任せていられない」と、自ら立ち上がった勇気ある母親達。各地域での積極的な活動に共感しました。(参加女性)

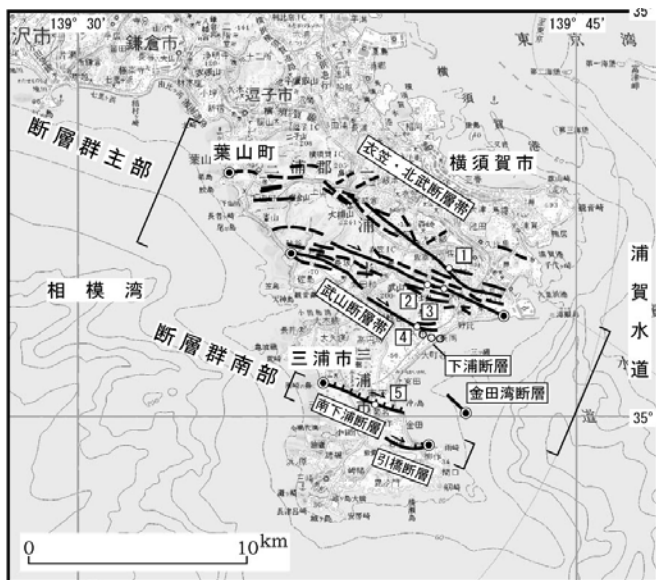
## 「三浦半島活断層再評価」

平成 23 年 12 月 18 日、横須賀市本町コミュニティセンターにて三浦半島活断層調査会主催による講演会が開かれ、湘南高校教諭浅見茂雄氏の講演があった。連協より 5 名参加。

最近の地震多発傾向でも解るように、3.11 東日本大震災以後、地殻を動かす力のバランスが崩れ、かえって地震が起きやすい環境となっている。三浦半島には下図に示す如く活断層が多く存在しており、又、未調査の活断層も多いと予測される。

地表面に現れた活断層も多くあり、その代表的な武山断層帯ではマグニチュード 6.6 程度以上の 30 年以内の地震発生確率は 6-11% であり、これは地震の歴史から見れば極めて高い確率である。これにより三浦半島に近い横浜市南部では震度 6 強が予測されている。

東日本大震災時に仙台郊外で起こった滑動崩落による地盤移動により、建物等に対し甚大な被害が生じたが、三浦半島地震が起きた場合、盛土造成地である桂台や庄戸一帯では、仙台郊外と同じ被害が予測される。



三浦半島の活動断層帯の地図(判明分)  
鎌倉近傍には未調査の断層もあるとされる

一方 1 月 24 日の新聞報道では、「M7 クラスの首都圏直下型地震が 4 年以内に 70% の確率」との報道もあり、盛土地帯の滑動崩落を含めた十分な対策が必要とされる。

参考資料

<http://www.jishin.go.jp/main/kyoshindo/pdf/20031028miura.pdf>  
(事務局)

### 横環南線の地質と地下水脈流動 講演学習会

講演会に参加して、この地域の地質を知って三浦活断層の動きを理解しよう！！  
(どなたでもご自由に参加できます)

日時：2012 年 3 月 11 日 (日)

13 時 30 分～16 時 00 分

場所：栄区庄戸 「庄戸中学校体育館」

講師：講師：福島大学教授 柴崎直明教授

### 対外活動報告

- 02/09 首都圏道路問題連絡会幹事会開催  
(八ッ場ダム建設再開は許さない抗議集会対応調整)
- 02/09 衆院議員会館訪問(比留間会長)
  - ・中島政希議員(本人に面会)
  - ・長島一由議員・穀田恵二議員、馬淵澄夫議員(ともに秘書対応)
- 02/14 神奈川県公害審査会第 3 回公害調停開催(申請人 5 名出席)
- 02/21 栄区役所情報公開資料受取
- 02/21 横浜市に対し横環南線計画決定資料の情報公開受取後再請求
- 02/21 県大気水質課へ公害調停の被申請人について確認
- 02/21 県都市計画課へ横環南の広報について確認
- 02/23 「八ッ場ダム建設再開は許さない」抗議集会 Part II (3 名参加)  
(衆院議員会館大会議室)
- 02/23 衆院議員会館訪問(比留間会長他 1 名)  
中島政希議員に面会し横環南線問題等への対応要請
- 02/28 情報公開審査会に異議申立書発送
- 03/01 高尾天狗裁判(東京高裁)最終弁論傍聴  
(4 名参加)
- 03/01 かながわ大気汚染・道路公害連絡会
- 03/03 環境行政改革フォーラム 2011 年度研究発表会において、「横環南線の問題点その 2」を比留間会長が講演(4 名参加)  
(東京都市大学横浜キャンパス)